

会議録

会議名称	令和7年度第3回会津坂下町地域公共交通協議会
開会及び閉会日時	令和7年11月26日(木) 10:00～
開催場所	会津坂下町役場 3階 大会議室
出席者	<p>委員：古川庄平(会津坂下町長)、荒井盛行(会津坂下町社会福祉協議会)、安部和人(会津乗合自動車(株))、高森康治(河沼自動車(有))</p> <p>鈴木清介(会津坂下町区長・自治会長会)、斎藤伸行(会津坂下町PTA連絡協議会)、菅家篤(会津坂下町幼稚園長・校長会)、関根誠(会津乗合自動車労働組合)、遠藤章(交通労連福島県支部)、斎藤龍(会津坂下警察署)、</p> <p>諏訪慎弥(福島県会津地方振興局) 11名</p> <p>代理出席：赤城タクシー有限会社 1名</p> <p>事務局：長谷川課長、山垣班長、荒井係長、大竹副主査</p>

<内容>

<p>司会：山垣政策企画班長</p> <p>1 開 会 出席11名、委任状による出席1名、計12名となり半数を超え会議は成立</p> <p>2 会長挨拶 (古川庄平会津坂下町長)</p> <p>3 協議事項 議長：古川会長</p> <p>(1) 会津坂下町地域公共交通交通計画骨子(案)について</p> <p>資料に沿って説明</p> <p>荒井委員：P38-39「利用しやすい交通手段が確保されている」という満足度と重要度とあり、この2つが乖離していると感じるが、事務局としてどう考えているか？</p> <p>事務局：重要度は8割の方が重要と思っているが、現状の公共交通体系では満足度が低いということである。その差を埋めるために、この計画の事業を実施し満足度の向上を目指していく、ということである。</p> <p>荒井委員：やはりこの2つは同程度の水準であればよいと考えているため、町の考えを確認しておきたかった。</p> <p>遠藤委員：P32 担い手不足のための2種免許の支援において、現状では免許取得に50万円程度かかる。どのくらいの金額を支援してもらえるのか？また、要望として免許証の返納した方についてバスを利用してほしいと思っていることから、ICカードでの乗車体験なども実施していただきたい。</p> <p>事務局：2種免許の補助は県の補助のため、整合性を図りながら制度設計をしていきたい。協議会の中でも共有させていただく。また、啓発活動については、コミュニティセンターでの周知や乗車体験なども今後実施していきたい。</p> <p>事務局：12月1日までは修正が可能のため、ぜひご意見をお寄せいただきたい。</p>

(2) 会津坂下町コミュニティバス実証運行実施内容（案）について

資料に沿って説明

鈴木委員：高寺地区の実証運行において、気多宮・塔寺の地区内を通るルートなのか、それとも国道を通るルートなのか教えていただきたい。

事務局：昨年度の大雪の影響も鑑みると、地区内の運行が厳しくなる可能性がある。高寺地区の実証運行でもあることから、あえて国道を通るルートで設定をさせていただきたいと考えている。

関根委員：あいづスタッフを利用いただいていると聞くと、運行管理はどのようにされているか？

事務局：運行日誌に発車時間や距離数、アルコールチェックなどを記載して管理している。休憩時間については会津坂下駅でトイレ休憩を20分、公民館でお昼休憩として60分を確保している。有事の際における連絡ツールが必要であるため、現在検討しているところである。

安部委員：運行時間の設定理由を教えていただきたい。現在の路線バス時刻との出発時間にそこまで差異がないことから、なにか理由があれば教えていただきたい。

事務局：確かにバス時刻と近い運行設定となっているが、実証運行における運行時間のひとつの基準として会津坂下駅との接続を考えている。そのため、逆算して運行時間を考えると、この時間設定になる。また、地区での聞き取りなどでも、坂下厚生病院から帰る便が必要という意見もあったことから、資料の時間設定としてある。なお、今後も時間について精査していきながら、本格運行についてはさらに協議をさせていただきたい。

古川町長：その他意見があれば、運行期間中などでもぜひお寄せいただきたい。

4 その他

鈴木委員：今後は公共交通だけでなく、道路の整備も実施していかなければならない。新館地区においても道路の幅員が狭く、路線バスとのすれ違いが困難な場所がある。それが要因で、渋滞も発生している場所もあるため、そういう場所の整備も必要である。

事務局：区長・自治会町会でも要望はいただいている。公共交通の充実だけでなく、道路そのものも整備するという両輪で利便性の向上が図られると考えることから、担当課と連携を図りながら、町全体で検討していく。

事務局より

1. 会津圏域における広域路線の再編（会津圏域の広域路線の再編内容の共有）

2. グリーンスローモビリティについて

（概要の説明と今後の方針について 2月協議会で意見聴取する）

3. バス待ち時間に合った時刻表の再編について

協議の結果、現状から5分早めることができれば、生徒の待ち時間が改善できる。

これから会津バスと協議を行い、4月の再編を目指す。

安部委員：会津乗合自動車株式会社と福島交通株式会社との統合することとなった。令和8年4月より統合。バスのカラーリングや愛称などに変更はない。統合後においてもよろしく願いたい。

6 閉 会